

【取扱い厳重注意】

平成24年5月8日

調査報告書

東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証委員会事務局

局員

仁保 智紀

平成24年5月8日、東京電力福島原子力発電所における事故調査・検証のため、関係者から聴取した結果は、下記のとおりであるので報告する。

記

第1 被聴取者、聴取日時、聴取場所、聴取者等

1 被聴取者

民主党衆議院議員 中野 寛成

2 聴取日時

平成24年5月8日午前10時00分頃から同日午前10時20分頃まで

3 聴取場所

衆議院第2議員会館421号室

4 聴取者

高嶋 智光 参事官

岡田 幸大 参事官補佐

仁保 智紀 主査

5 ICレコーダーによる録音の有無等

あり

なし

第2 聴取内容

3月11日の官邸5階での協議、緊急時被ばく線量限度の引上げについて別紙のとおり

第3 特記事項

特になし。

以上

1. 被聴取者の身分

中野議員は、事故当時、国家公安委員長として事故対応に当たった。

2. 聴取内容

(1) 3月11日夕方の総理執務室における協議について

新聞報道等によると、私は、3月11日18時36分から19時6分まで、官邸5階の総理執務室にいたとのことであるが、どのような用件であったのかは覚えてない。事故発生後、私が総理執務室に行くことはそれほど多くなく、上記のタイミングで緊急事態宣言の発出について総理等と協議したのであれば記憶しているはずであり、そのような記憶がない以上、私が緊急事態宣言の発出に関与したことはなかったと思う。

(2) 緊急時被ばく線量限度 500mSv への引上げの検討経緯について

3月17日、緊急対策本部会議後の帰りの車の中で菅総理に電話したところ、「今、緊急に大事な会議をしているから、時間があるなら来てくれ」と言われたため、総理執務室に行った。執務室には、海江田経産大臣、細川厚労大臣、北澤防衛大臣、細野補佐官等がいて線量限度の500mSvへの引き上げに関する会議を行っており、私も参加した。確か統幕議長も陪席していた。細野補佐官から被ばく限度の引上げについて話があり、菅総理から前向きに考えてほしいとの話があった。細川大臣は弾力的な反応だったと思うが、北澤防衛大臣は、「この前上げたばかりではないですか、それでまた再度上げるんですか」と言っていた。私は、慎重にすべきだと発言した。その会議では結論は出ず、各々持ち帰って検討することとなった。

会議の後、私は警察庁に戻って、長官等の幹部と話した後、私自身としては、急激にあげすぎではないか、慎重に考えたほうがいいのではないかと印象を持ったため、北澤防衛大臣に電話でその旨を話し、折りがあれば私と共通の意見として慎重論を言ってくれたらいいと話した。そして、北澤大臣は菅総理に話し、それが原因かどうかはわからないが、本件については立ち消えになった。

私が慎重に考えるべきだと思った理由は、14日に250mSvに引き上げたばかりであったということと、500mSvという数字がIAEAで定めている最大限度の値であり、そこまで引き上げなければならないとは思っておらず、警察官を必要以上の危機に立ち入らせることは防ぎたいという気持ちがあったことである。

以上